

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

⑩ 日本国特許庁 (J P)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U) 昭63-188315

⑬ Int. Cl.¹

F 16 B 37/08
9/02
13/14

識別記号

庁内整理番号

Z-7526-3J
A-8714-3J
Z-8714-3J

⑭ 公開 昭和63年(1988)12月2日

審査請求 未請求 (全3頁)

⑮ 考案の名称 座付きクリップ

⑯ 実 願 昭62-80442

⑰ 出 願 昭62(1987)5月27日

⑱ 考 案 者 柴 見 吾 郎 神奈川県横浜市戸塚区舞岡町184番地1 株式会社ニフコ 内

⑲ 出 願 人 株式会社 ニフコ 神奈川県横浜市戸塚区舞岡町184番地1

⑳ 代 理 人 弁理士 桑 原 稔

㉑ 実用新案登録請求の範囲

一方の側に直径の頸部が、且つ他方の側からボルトの係着孔が夫々設けられているクリップ本体であつて、該クリップ本体の周側には、外方に伸びる係合片部と該係合片部の基部側で該係合片部に一体とされ且つ前記頸部に対向する側に伸びる係当座部とが、ヒンジ部を介して一体に連設されていると共に該ヒンジ部で前記係当座部と共に折曲げられる係合片部が前記頸部に係脱可能に係止されることを特徴とする座付きクリップ。

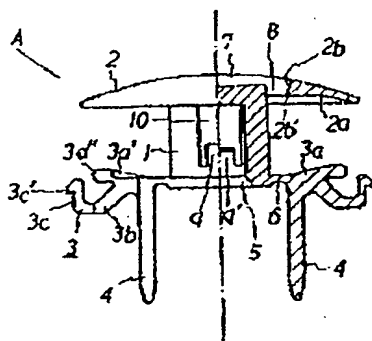
図面の簡単な説明

第1図は本考案の典型的な実施例を示す座付きクリップの一部破断正面図、第2図は同一部破断

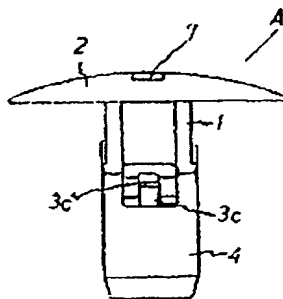
側面図、第3図は同底面図、第4図は同平面図、第5図は係合片部及び係当座部の要部断面図、第6図はクリップ本体部の縦断面図、第7図は同平面断面図、第8図は装着状態を示す一部破断正面図、第9図～第11図は取付け例を示す一部破断正面図、第12図は取付け板Bが複数である場合の要部断面図、第13図は従来例の部品分解斜視図、第14図は同断面図である。

尚、図中1……クリップ本体、2……頸部、3……係合片部、4……係当座部、5……係着孔、6……ヒンジ部、7……係合溝、8……係合孔、9……係止片、10……窓。

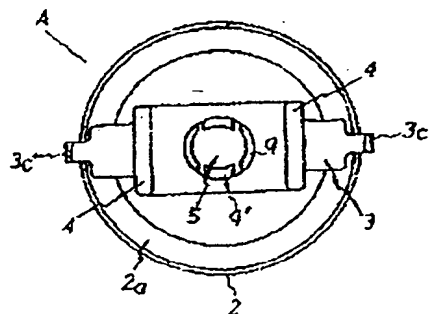
第1図



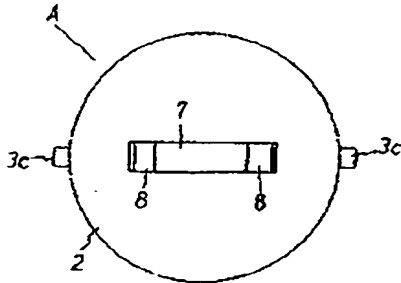
第2図



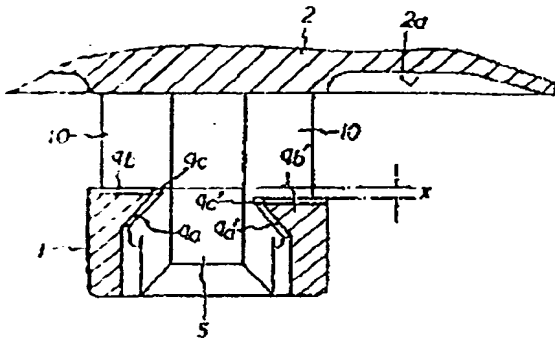
第3図



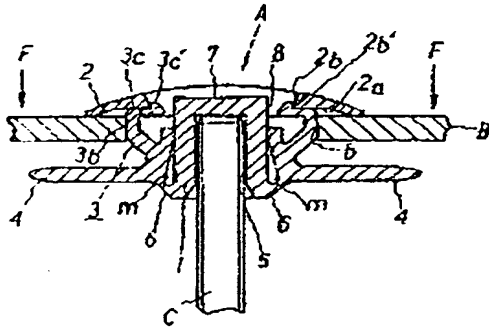
第4図



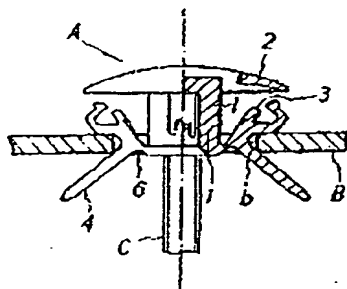
第6図



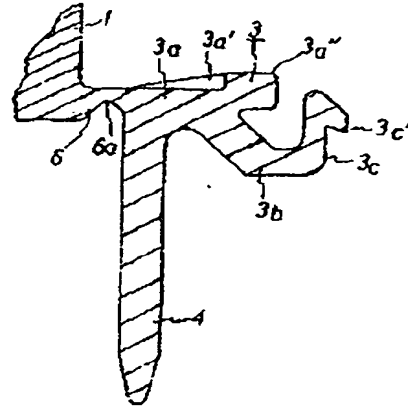
第8図



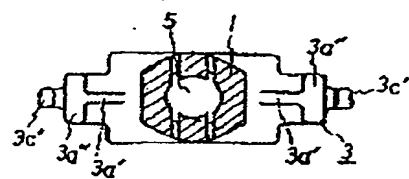
第10図



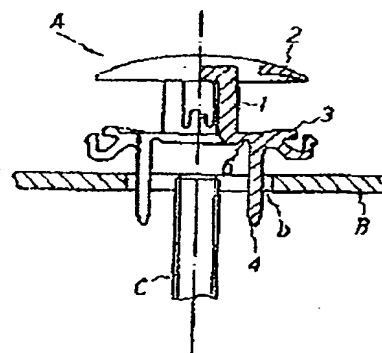
第5図



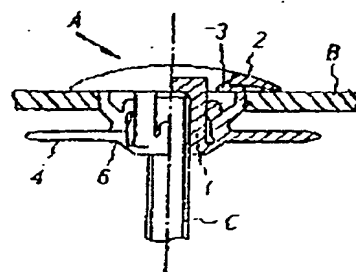
第7図



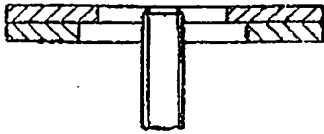
第9図



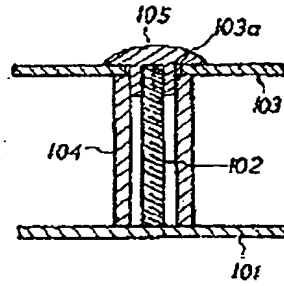
第11図



第 12 図



第 14 図



第 13 図

